

かけがわ

第43号

平成25年11月1日

市議会 だより

おもな内容

CONTENTS

● 決算概要	2 ページ
● 議案の審議結果	5 ページ
● 一般質問	6 ページ
● 傍聴席 / 11月定例会の予定	12 ページ



平成24年度決算

事業の選択と集中

一般会計

歳入決算額	449億 460万円
歳出決算額	432億 5,943万円
歳入歳出差引額	16億 4,517万円
実質収支	11億 9,486万円

特別会計

歳入決算額	243億 9,779万円
歳出決算額	237億 2,066万円
歳入歳出差引額	6億 7,713万円
実質収支	6億 7,713万円

※企業会計は市議会だより8月1日号にて報告済

伸び悩む市税収入

歳入面では、市税収入は個人市民税が2億8千万円強の増になりましたが固定資産の評価替えに伴い3億9千万円余の減収になり、市税総額は203億7千万円余(対前年比▲1.6%)でした。財政健全化基金11億円余の取り崩しや合併特例債など市債47億円弱の発行により必要額を確保しました。景気の回復傾向が見え始めたものの歳入は依然として厳しい状況にあります。

歳出面では、学童保育施設など子育て環境整備、小中学校の耐震化、合併推進道路整備、全国お茶まつりの開催、新病院建設など事業の選択と集中を進めるとともに行政の効率化を図りました。

一般会計歳入構造

区分	金額・指数	前年対比
自主財源	276億円	-1億円
依存財源	173億円	+5億円
財政力指数(単年度)	0.907	±0
実質公債費比率	11.8	-1.4
将来負担比率	123.5	+32.4

「実質公債費比率」は前年度対比で1.4ポイント改善したが、県内順位はワースト5位からワースト10位となった。

「将来負担比率」は前年度対比で32.4ポイント悪化し、ワースト6位からワースト1位となった

一般会計決算(歳入)の推移



施策を評価し、未来につなぐ決算審査

平成24年度決算議案は、一般会計と特別会計の2つの特別委員会を設置し、審査を行いました。

一般会計は、9月20日、24日の2日間、特別会計・企業会計(病院事業会計)は9月20日に開催され、審査の結果いずれも原案のとおり認定すべきものと決しました。また、10月1日の本会議において、両特別委員会の審査経過及び審査結果が委員長より報告されました。

一般会計決算特別委員長報告(抜粋)

この委員会で交わされた主な質疑は次のとおりです。

Q 防災資機材の整備について、耐用年数のチェックはどうなっているか。

A 医療資機材など期限があるものはチェックし、随時更新している。毛布など期限がないものはそのまま備蓄している。発電機などは点検を業者がおこなっている。

Q 太陽光パネル設置補助金について、掛川市は1基につき6万円、湖西市は12万円の補助だが、来年度予算で引き上げる考えはあるか。

A 近隣市の補助金は下がり気味であり、県、国は急激に下がっている。掛川市は2万円から始まって、4万円、6万円と上がってきた。近隣市と比較して安くはないと自負している。設置費用は安くなってきてはいるが、まだまだ高額であり、現在の6万円を維持していきたい。

Q 地区に住んでいる若者の全員が消防団に入団したとしても団員が欠員となるような時期が来る。消防団の魅力をPRするような検討と新消防団員確保予算を検討していただきたい。

A 街中で全体的に若者が減ってきていることを考えると、機能別消防団を街の中にも導入していきたい。

Q 小学校の給食調理場のセンター化の状況は。

A 掛川区域には、小学校に併設されている8つの単独調理場、共同調理場があるが、いずれも老朽化が進んでおり、古いものでは築49年が経過している。現在、センター化の手法・建設地などについて研究中である。

特別会計決算特別委員長報告(抜粋)

この委員会で交わされた主な質疑は次のとおりです。

◎掛川市国民健康保険特別会計

Q 1件あたり80万円以上の高額療養費が901件あるが、どのような病気が多いのか。

A 特に件数として多いのは癌や心筋梗塞であり、金額として大きいのは、難病の方で毎月500万円程度掛かっている例もある。

◎掛川市介護保険特別会計

Q 家族介護支援事業について、介護者も高齢化しており、家族での介護が難しくなっている場合の支援策はあるのか。

A 老老介護や認知症の家族を介護している人も認知症をわずらっているような認知介護といった状況の方については、包括支援センターを中心に必要な対応がとれるようになっている。

◎掛川市農業集落排水事業特別会計

Q 農業集落排水事業使用料の今後の収入額の傾向は。

A 昨年度に4地区全ての事業が終了し、接続もほぼ完了したため、未接続は引越しや一部の方のみであり、調定額や収納額に大きな変化は無い。

◎掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計

Q 25年度以降の浄化槽市町村設置推進計画は。

A この事業は農業集落排水事業の代替えとして該当地区の80パーセント以上の同意に基づきスタートしており、これ以上の推進は考えていない。

平成25年度9月 一般会計補正予算の 概要と特徴

1 補正規模 1,903万円
 2 補正後の予算額 433億7,543万円
 本補正予算において追加実施する事業 2億2,218万円

1 地震・津波対策整備のため、職員給与費を削減

- ① 一般職人件費 3,730万円減額
- ② 特別会計・企業会計繰出金(人件費削減分) 375万円減額
- ③ 地震・津波対策整備基金積立金 4,321万円追加

10月1日から3月末日までの半年間、職員給与を2.4%削減し、管理職手当を10%削減するものです。減額した人件費は、新たに設置する、地震・津波対策整備基金に4,321万円の積み立てを行います。

2 世界農業遺産「静岡の茶草場農法」推進

- ① 世界農業遺産茶草場農法推進費 2,378万円増額

新規来訪者増加のための世界農業遺産ツーリズム調査を実施するほか、粟ヶ岳登山道入り口の「いっぴく処」北側駐車場を整備するものです。

3 希望の丘整備の推進

- ① 希望の丘推進事業費 1,084万円追加

エリア内の建物などの色彩の統一性などのコンセプトを策定する景観計画策定業務委託料などです。

4 市民の安全安心のために

- ① 農業用溜池一斉点検調査委託料 1,400万円追加

農業用溜池の耐震対策として、一斉点検を2年間で実施するもので、本年度は50池を対象に、下流域の氾濫エリアの解析を実施します。

- ② 風しんワクチン接種助成事業費 576万円追加

妊娠している女性の同居の家族などを対象として、風しんワクチン接種費用の一部を市が助成するものです。

5 子育て支援のために

- ① 保育士等処遇改善臨時特例事業補助金 2,934万円追加

待機児童解消策の一環として、保育士の人材確保を促進するため、保育士の処遇改善に取り組む私立保育所に対して、補助金を交付するものです。

6 環境日本一のために

- ① 農工団地指定解除基礎調査等委託料 1,011万円追加

民間業者・静岡県・掛川市の三者が協働して、大須賀地内沿岸部に太陽光発電施設設置事業を進めるための経費です。土地利用面積は18ha、太陽光発電施設の規模は16メガワットを予定しています。

- ② 防犯灯設置地区補助金 986万円増額

自治区で管理する防犯灯をLED化する経費を補助します。

歳入	
①前年度繰越金	8億7,485万円
②臨時財政対策債	3億7,300万円
③地方交付税	2億6,461万円
④国県支出金	4,737万円
⑤その他の地方債	1,050万円
⑥繰入金	△15億6,120万円
⑦諸収入	679万円
⑧その他	311万円

歳出	
①地震・津波対策整備基金積立金	4,321万円
②防犯灯設置地区補助金	986万円
③世界農業遺産茶草場農法推進活用費	2,378万円
④希望の丘推進事業費	1,084万円
⑤保育士等処遇改善臨時特例事業補助金	2,934万円
⑥道徳副読本印刷費(二宮金次郎・掛川の偉人)	385万円
⑦長期償還利子	△1億1,109万円
⑧その他	924万円

9月定例会における議案の審議結果一覧

	議 案 名	議 決 内 容
予 算	平成25年度掛川市一般会計補正予算(第3号)について	賛成多数可決
	平成25年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	賛成多数可決
	平成25年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)について	賛成多数可決
	平成25年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	賛成多数可決
	平成25年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	全会一致可決
	平成25年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	全会一致可決
	平成25年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計補正予算(第1号)について	全会一致可決
条 例	平成25年度掛川市水道事業会計補正予算(第1号)について	賛成多数可決
	掛川市職員の給料の特例に関する条例の制定について	賛成多数可決
	掛川市地震・津波対策整備基金条例の制定について	全会一致可決
	掛川市子ども・子育て会議条例の制定について	全会一致可決
	掛川市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	全会一致可決
一 般	掛川市農業委員会の委員の定数等に関する条例の一部改正について	全会一致可決
	桜が丘中学校校舎耐震補強工事変更請負契約の締結について	全会一致可決
	城北小学校校舎耐震補強工事変更請負契約の締結について	全会一致可決
	(仮称)南部体育館建築主体工事変更請負契約の締結について	全会一致可決
人 事	公の施設の指定管理者の指定について(掛川市総合福祉センター)	全会一致可決
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	全会一致同意
決 算	平成24年度掛川市一般会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
	平成24年度掛川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
	平成24年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
	平成24年度掛川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
	平成24年度掛川市公共用地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
	平成24年度掛川市駅前周辺施設管理特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
	平成24年度掛川市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致認定
	平成24年度掛川市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
	平成24年度掛川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
	平成24年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定
	平成24年度上西郷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致認定
	平成24年度桜木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致認定
	平成24年度東山財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致認定
	平成24年度佐束財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致認定
平成25年度掛川市病院事業会計決算の認定について	賛成多数認定	
報 告	掛川市一般会計継続費の精算報告について	受 理
	健全化判断比率の報告について	受 理
	掛川市簡易水道特別会計資金不足比率の報告について	受 理
	掛川市公共下水道事業特別会計資金不足比率の報告について	受 理
	掛川市農業集落排水事業特別会計資金不足比率の報告について	受 理
	掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計資金不足比率の報告について	受 理
	平成25年度掛川市病院事業会計資金不足比率の報告について	受 理
議 発	掛川市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について	全会一致可決
	「新聞をはじめ生活必需品に消費税の軽減税率の導入を求める意見書」の提出について	全会一致可決
	「重度障害者(児)医療費助成制度における精神障害者の適用改善に関する意見書」の提出について	全会一致可決
	「地方税財源の充実確保に関する意見書」の提出について	全会一致可決
請 願	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書」の提出について	全会一致可決
	新聞軽減税率に関する請願書	全会一致採択

■陳情

重度障害者(児)医療費助成制度の精神障害者への適用改善について県知事宛意見書提出を求める陳情	文教厚生委員会	全会一致採択
地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について	総務委員会	全会一致採択
森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書	総務委員会	全会一致採択



小中学校の二学期制の評価と今後の方針は



創造みらい
秦 通 泰

Q 市内小中学校三十一校が二学期制となり八年経過、各学校の特色を活かして人間形成と学力向上の取り組みがされているが、その評価と今後の方針について伺う。

成果を活かし、今後も継続

A 各校で二十時間程度の授業時間を生み出すことができた。長期休業直前まで充実した学びの時間の確保やお茶の手もみなどの特色ある



子どもたちが自慢の金次郎さんとエコ校舎

体験的な学習を可能とし、学園化構想のもととなる学習ができるようになった。

公職選挙における投票率向上策は

Q 一連の公職選挙が終わりましたが、いずれも過去の投票率より低下傾向である。民主主義の根幹にかかわるものであり投票率向上策について伺う。

地道な活動や期日前投票の一層啓発を推進

A 白バラ会が中心となり、小中学生の選挙啓発ポスター展の開催、二十歳を迎える市民に選挙啓発のバースデーカードの郵送、選挙啓発の広報紙発行など地道な活動を通じて、関心を持つきっかけづくりや期日前投票の一層啓発を進める。

【他の質問事項】
旧教育センター跡地の活用について伺う。

障がい者新規就労五百人サポート事業の進捗状況は



創世会
松 本 均

Q 市長の第二期市政運営に向けた所信に、福祉が充実したまちづくりを掲げ、障がい者新規就労五百人サポート事業を実施するとあるが、現在の進捗状況について伺う。

推進協議会や専門部会をそれぞれ組織し検討

A 公共職業安定所や社会福祉協議会など、市内の就労関係機関との連携により、障がい者の就労をより強力に推進する体制作りや障がい者と企業などの双方の雇用に関する調査内容の検証、本事業に係る条例制定などの検討を予定している。

放課後児童保育の環境と運営の改善は

Q 昨年度成立した子ども子育て関連三法には、すべての子どもの健やかな成長のために、適切な環境が等しく確保されるとあるが、各児童保育の環境と運営について伺う。

余裕教室など既存施設の活用を基本としニーズに対応

A 一部で定員を超えて児童を受け入れられている施設や静養スペースの確保、一人あたりの基準床面積を満たしていない施設がある。しかし、それぞれの施設で保育スペースの確保と環境改善のため、工夫して上手に活用し、快適な環境確保に努めている。

【他の質問事項】

高齢者障がい者の防災について



移転が望まれる「わくわくクラブ」



お茶のまち掛川として、茶業振興に向けた取り組みは



創世会 大場 雄三

Q 世界農業遺産「茶草場農法」認定や九年連続深蒸し煎茶産地賞受賞から、掛川市全域として、一致団結した施策が必要であるが行政としての農商工の連携について伺う。

お茶に関する施策を一元的に所管する体制を組織

A 掛川茶振興協会が昭和五十一年度から組織され、さまざまな事業を展開している。



生産から販売まで一体となった取り組み

来年度に向け、農商工連携の面でも強力に施策を推進する組織体制や掛川茶振興協会の事務局体制のあり方、他作物の振興にもつながる仕掛けづくりをあわせて検討する。

耕作放棄地解消への取り組みは

Q 農地は大切な財産であり、健全に運用することとは、美しい農村の景観を保つとともに、自然界の正常循環にも繋がる。市民農園の開設による農産物直売所と高齢者の生きがいがつくりとの関連性について、どのようなことが考えられるか。

新たな農園などの開設と併せ適切な支援を実施

A 市民農園は高齢者をはじめ市民の生きがいがいくつくりなどに大変効果があり、農業への理解と裾野を広げ、場合によっては新規就農にも結びつくものである。また、耕作栽培の技術指導を含めた体験農園の開設に必要な応じて協力する。

地震・津波防災まちづくりに向けた施策は



創世会 二村 禮一

Q 南海トラフ巨大地震が懸念される中、地震・津波による甚大な被害が想定される。

地震の揺れや津波によって発生する死者数の軽減戦略について、市長の見解を伺う。

「掛川市地震・津波対策アクションプログラム」を策定

A 庁内委員会を立ち上げ、死亡者ゼロメニューと被災者生活支援・復旧メニューの策定作業を進める。

企業や自主防災会の津波避難施設整備を支援し、避難場所の確保を行う。また、防災訓練や防災講座をきめ細やかに実施し、地域防災力・家庭防災力の向上に努める。

異常気象による風水害対策は

Q 最近、列島各地で局地的なゲリラ豪雨などの異常気象が問題になっている。菊川水系及び竜今寺川流域の洪水災害対策について伺う。

菊川水系では市内七箇所にテレビカメラを設置

A 菊川水系・竜今寺川流域では、近年、概ね二十年や五十年に二度降る雨の確率に対応する河床の整備を実施している。さらにきめ細やかな河川管理体制を確立し、さらなる安全・安心を確保する整備計画や適正な維持管理を国県に要望する。



高上げが要望される自転車道



市職員が百二十八人減ったが、公務員の使命感が保てるか



共産党掛川市議団 鷺山喜久

Q 合併や国の集中改革プランなどによって職員が減った。「全体の奉仕者」として、市民の権利や福祉の増進のために安心して働く職場になっているか、同時に「財政効率一辺倒」の行政でよい

A 働き易く、生きがいを感ずじ自己実現が図られる職場環境の実現に努めている。今後は、市民協働の精神に則り、市民・企業・団体など多様な担い手が主体的に参画する仕組みを構築しながら、職員数の削減を検討する。

適正な職員配置や質の高い業務でさらなる市民サービスを

Q 啓発と周知の徹底や積極的な情報提供が重要

A 広報紙やHPの掲載、出前講座、職員との意見交換会、先進地区への視察、*ICT機器の活用により、積極的な参画につなげたい。本来、身近な地域の課題は市民が主体的に解決するものと考えているため、協働が一概に市民負担に繋がるとは考えていない。

「市民活動日本一」で、市民は満足するか

Q 「協働のまちづくり」が、少しずつ進み出したが、どのような方法で全市民が参加、参画することを目指しているか、また市民負担とならないか。

A 「他の質問事項」
・非核平和都市宣言のまちを発展させることについて

啓発と周知の徹底や積極的な情報提供が重要

Q 分権改革で地方自治体は政策決定の裁量幅が広がり「課題設定能力」と「問題解決能力」が必要となった。職員の人材育成はどうか伺う。

A 市民感覚、経営感覚及び人材を育成するため、能力開発支援、職場環境の整備、人事管理制度の向上を相互に支え合う取り組みを通して実施する。また職員研修では、自主研修、職場研修、職場外研修を基本に、特徴を活かしながら効果的に組み合わせ実施している。

「期待される職員像」を目指す人材育成を実施

Q 農業振興ビジョンでは課題と取り組みとして①担い手の確保育成②生産基盤の整備③優良農地確保と効率的利用④強い産地づくり⑤先進技術の導入と普及

A 分野別進捗状況は、国・県との連携、生産効率の向上、担い手への集積、掛川茶などのブランド力の強化、新技術導入への市単独補助制度、マーケティングや6次産業化などを図っており、生産性の高い農業を目指している。

「掛川市農業振興ビジョン」の進捗と評価は

Q 新たな経営展開を挙げている。その進捗と評価を問う。

A 総合的に、ここ数年の成果は厳しい状況

「他の質問事項」

【他の質問事項】
・下水整備事業について



市民に開かれた庁舎をめざす市役所本庁舎

*ICTとはIT技術の総称であり、特に公共サービスの分野において使われる言葉

地方分権時代に職員に求める資質と育成プログラムは



創世会 草賀章吉



概ね5年ごとに見直しを行う掛川市農業振興ビジョン

一般質問 Q&A



西南郷子育て支援事業「のびのび広場」で遊ぶ子どもたち

待機児童ゼロ政策は

Q 未来ある掛川市に向かい、多くの子育て世代の皆さんが満足する子育て支援策は計画されているのか。

待機児童の解消法を、希望の丘新設の認可保育所、平成二十六年年度予算計画と併せて伺う。

既存の認可保育所の受入拡充と認可外保育所の利用促進

A 認可保育所は、ゼロ歳児等入所促進補助金や定員緩和の促進を展開し、認可外保育所は、就園奨励費補助

事業の拡充など新しい施策について、園長などと協議する場を設け進めたい。

健康医療日本を目指す今後の政策は

Q 新病院、希望の丘など、医療インフラが整い、

今後は、在宅の医療へ介護、ふくしあなどマンパワーの必要性が予測される。福祉関係者の人材確保が今の支援策で可能なのか。今後の政策を伺う。

病院の統合や機能分化を進め地域完結型医療体制を整備

A 福祉関係者への支援として、社会福祉協議会を通じての間接的な支援や現在進められている地区まちづくり協議会において、地域の将来計画の策定や財源配分などを行うことが検討されている。



創世会
小沼 秀朗

内陸フロンティア構想 策定への取り組みは

Q 活力の低下している市北部中山間地域住民は、新東名を活かした地域活性化に大きな期待を寄せている。早期に構想を策定し計画的に推進することが肝要であると考えるが。

個別事業の実現に向け、県の構想所管部局と事業調整

個別事業の実現に向け、県の構想所管部局と事業調整

A 実現が難しい事業が実施可能となった例もある。市により、市内で行われることにより、市内で行われる国・県の事業がスピードアップしたり、市が行う事業に対する支援が充実するなど、県との連携を密にし、事業調整する。

新東名掛川PAへリポートの防災活用を

Q 新東名は防災の緊急輸送路として重要であり、掛川PAに設置されたへりポートは進出してきた防災関係機関の基地としての役割が期待されている。市として、このへりポートをどう評価し、いかに活用するのか。



創世会
雪山 敏行

防災計画に反映し、防災関係機関との認識統一を図る

A 資機材の防災拠点への輸送、道路の寸断などにより孤立集落が発生した場合の拠点としての活用が期待できる。自衛隊や緊急消防援助隊などの応援隊や救援物資の輸送拠点など防災へりポートとして位置付けを検討する。

【他の質問事項】
里地里山の保全と活用について



新東名掛川PAに設置された防災用へりポート



**開発・発展なるか
掛川市の北西部地区**



創世会
野口 安 男

Q 内陸フロンティアに係る、掛川市北西部の開発・発展をどのように考えるか。市内全体のバランスのとれた発展を望む時、森掛川インターを結ぶ西環状線の整備計画を伺う。

市の西側の玄関口として、土地利用が図られるエリア

A 西環状線はクリアーすべく大きな問題があるため、内陸フロンティア構想も含め、今年度から東遠広域都市計画連絡協議会という広域組織を活用し、県の関係部局との勉強会や検討会を立ち上げ、段階を追って調整を進めていく。

学校・地域社会・家庭の教育連携で育てる知徳体情意

Q 園児・児童・生徒の健全な成長のために、今年度から始まった中学校区の学園化の現状と今後の展望を伺う。また、「学力のおさえ」をもとに、教員の目指す授業は何かながなものか伺う。

学園化により「確かな学力」を育む

A 九学園の「子ども育成支援協議会」を立ち上げ、順調に学園化が進められ、連絡協議会も開催した。今後は学園テーマを学園だよりなどを通じ、地域へ情報発信し、協働による学園づくりを推進する。また学校では「確かな学力」を育む研究を推進する。



周辺の開発が望まれる森掛川インターチェンジ

**待機児童を
真にゼロにするため
取り組むべき課題は**



共産党掛川市議団
渡 邊 久 次

Q 「子育て支援が充実したまちづくり」の推進のために、待機児童の解消対策として、具体的にとどのような対策を講じるのか伺う。

保育需要の伸びに対して認可保育所の整備

A 認可保育所の整備を推進し、保育環境を整えていく取り組みを段階的に行い待機児童の解消を目指す。また、保育事業者、子育て世代を雇用する企業、地域住民など、あらゆる分野の方々の協力により、さまざまな制度を活用し対応策を講じる。

ごみ有料化で、ごみの減量は進むのか

Q 掛川市が「ごみ減量日本一」を達成できたのは市民のごみ分別と資源化の成果である。有料化すればごみの減量化になるとい根拠を伺う。

**ごみ有料化導入
初年度から三か年平均は
効果あり**

A 多くのごみを排出する市民には、ごみ袋の購入費をおとして、より多くの処理費を負担してもらう仕組みを導入したい。
ごみ有料化導入後の県内市町では初年度から三か年平均すると、ごみ減量化が見られた。



分別が徹底されている資源ゴミの回収(大東区域)



**健康医療日本一の
まちづくりには緑茶を
活用した取り組みを**

Q

地域医療・救急医療の充実や質の高い医療の提供は全市民共通の願い。増大する医療費や介護費抑制のため、若年時から緑茶の効能学習を深め、飲む習慣を身に付けることで、生活習慣病予防につながることを考えるがいかがか。

さまざま視点でお茶と触れ合う機会を設置

A

お茶の産地であり、お茶の振興を進める当市にとって、子どもたちに対するお茶の学習は大変重要である。このため、お茶を飲む習慣を身に付けるとともに、その効能を学ぶ場をより一層増やしていきたい。

**市民活動日本一のまちづくり
掛川区域にも活動の拠点を**

Q

協働のまちづくりへの市民の理解、認知は低い。協働への市民意識を高め、さまざまな団体、人をつなぐ媒体となる市民交流センターを掛川区域にも欲しいと考えるが。

**生涯学習センター担い手の
部屋を市民交流センター的に
使用**

A

既存の公共施設の活用推進や現在の生涯学習センター担い手の部屋に相談業務、人材育成、市民活動支援などを行う機能の設置を検討するなど、担い手の部屋の機能強化を行っていく。



f.a.n地域医療を育む会協働事業
富田区自主防災会普通救命講習会



無党派の会
窪野 愛子

聞こえ語ろまのこ **議会報告会が始まりました**

**今回の
テーマ**

- 1 身近でわかりやすい議会をめざして「議会の役割と責務」
- 2 命とくらしを守る水「水道事業の現状と課題」
- 3 市民に愛される病院をめざして

開催日	地域	会場
10月 29日(火)	栄川中学校区	栄川中学校多目的ホール
10月 30日(水)	大須賀中学校区	大須賀支所2階市民交流センター
	西中学校区	市役所4階会議室
11月 5日(火)	原野谷中学校区	原谷地域生涯学習センター
	北中学校区	初馬会館
11月 7日(木)	桜が丘中学校区	和田岡地域生涯学習センター
11月 8日(金)	東中学校区	南郷地域生涯学習センター
11月 9日(土)	大浜中学校区	大東支所3階市民交流センター
11月 10日(日)	城東中学校区	大東北公民館

※開始時刻は
午後7時からです。

議 会 日 誌

【7月】

- 16日～18日
 - 文教厚生委員会行政視察
(愛知県大府市、広島県広島市、岡山県総社市)
- 19日 ○第3回議会報告会運営会議
 - 第1回新病院支援・地域医療対策特別委員会
- 22日 ○市議会全員協議会
 - 第2回協働のまちづくり推進特別委員会
- 23日～24日
 - 議会だより編集特別委員会行政視察
(名古屋市中日新聞、滋賀県甲賀市)
- 26日 ○東遠議員交流フォーラム
- 29日 ○静岡県市町議会議員研修会

【8月】

- 1日～2日
 - 議員東京研修
- 5日 ○掛川市・菊川市衛生施設組合議会
- 7日 ○小笠老人ホーム施設組合議会
- 9日 ○東遠工業用水道企業団議会
- 12日 ○東遠学園組合議会
 - 東遠地区聖苑組合議会
- 16日 ○第2回新病院支援・地域医療対策特別委員会現地視察
- 19日 ○東遠広域施設組合議会
- 20日 ○第4回議会報告会運営会議
- 21日 ○市議会全員協議会
 - 第3回協働のまちづくり推進特別委員会
- 22日 ○掛川市・袋井市病院企業団議会
- 26日 ○議会運営委員会
 - 議員懇談会
- 27日～29日
 - 環境産業委員会行政視察
(岩手県滝沢村、北上市、福島県いわき市)
- 30日 ○第5回議会報告会運営会議

【9月】

- 2日～10/1日
 - 掛川市議会第4回(9月)定例会
- 4日 ○議会だより編集特別委員会
- 17日 ○議会報告会全体会議
- 18日 ○議会運営委員会
- 25日 ○議会だより編集特別委員会
- 26日 ○第6回議会報告会運営会議
- 27日 ○第4回協働のまちづくり推進特別委員会

【10月】

- 1日 ○議会報告会全体会議
- 10日 ○議会だより編集特別委員会

議員報酬10%削減

・議員提案により平成25年10月から26年3月までの6ヶ月間削減し、地震・津波対策整備基金に積立するように入力をしました。

11月定例会の予定

【11月】

- 28日 本会議
(議案の提案説明)

【12月】

- 9日 本会議(一般質問)
- 10日 本会議(一般質問)
- 11日 本会議
(議案質疑、委員会付託)
常任委員会
- 16日 常任委員会協議会
- 24日 本会議
(委員長報告、質疑、
討論、採決)

● 傍聴席 ●

定刻にブザーが鳴り、議長の朗々とした声が議場内に響きわたりました。それまでの休憩時間のざわめきが静まって、緊張感がみなぎり、しわぶきひとつない中で、議員が登壇し質問がはじまりました。傍聴席の私もなんだかドキドキして質問に聞き入りました。

質問には私たち市民の暮らしに直結する重要な問題が含まれていますので、議員は無論のこと、答弁する市長・教育長・各部署の担当者など、真剣そのものであります。また、円形の議場は傍聴

席から全体が見渡され、表情や態度、質問や答弁に対する反応まで伺い知ることができ、とても興味深く傍聴しました。

2日間の主な議題の中で、私たちのくらしののちに關わる質疑応答が特に印象に残りました。傍聴しなければ知り得ないことも多々あり、傍聴して本当に良かったと思えました。

市議会では真剣に論議された問題が、市民生活の向上に真に役立つものになり、「住民こそ主人公」として、施策に反映されることを心から願いました。
鳥羽朝子(中方)

編集後記

議会だより編集特別委員会では、市民の皆さんにより親しく読んでいただくために、どのようなたよりが良いか検討を重ねてきました。編集の力量向上のために、編集方法や内容を熟慮して発行しました。十一月号はいかがでしたか。皆さんの感想を聞かせていただけたら幸甚に存じます。

議会の公開と報告は、私たちの義務です。今年度から行われる「議会報告会」時にこのたよりを参考にしていただきたいと思えます。

議会だより
編集特別委員会
副委員長 野口安男



※この市議会だよりは、資源リサイクル推進のためグリーン購入法適合再生紙を利用しています。